

未来

郵政産業ユニオン
PIWO
全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 4304
22年11月29日(火)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

年末年始業務運行対策に関する 労使間の意思疎通実施

おはようございます。
2023年用年賀はがきの当初発行枚数は、昨年より約1割減の約1億6400万枚。ピークだった2003年の約4割弱になっています。また年賀はがきの引き受け開始日は例年通り12月15日です。

この年賀はがきと御歳暮などゆうパックの引き受け・配達を中心とした11月下旬から年明け1月上旬までの繁忙期を、年年始繁忙(以下、年繁と呼んでいます)と呼んでいます。

長中局支部は11月24日、会社とのコミュニケーション・セッション・ルールに基づく「年末年始業務運行対策に関する労使間の意思疎通」について、事前の意思疎通を行いました。この意思疎通は、毎年の年繁前に、職場労使委員会の窓口において事項の説明のほか、業務運行や

営業活動を効率的かつ効果的に推進する立場から建設的な意見交換を行うものです。

今年度の年末年始業務運行も、郵便サービスの見直しに伴うオペレーションの変更と要員配置の見直しのため、業務運行に大きな影響が出ると考えられます。

今回の意思疎通では、まず長中局から2022年度の年末年始業務遂行のポイント5項目について



2022年度 年末年始業務遂行のポイント

1. 例年の共通事項(業研の実施、残留点検の実施など)
2. コロナ感染対策(業務中は原則マスク着用など)
3. 送達日数繰り下げ後のオペレーションを考慮した業務計画
4. 品質の維持向上にむけ社員の育成
5. 安全の確保(死亡交通事故を含む重大事故根絶に向け、安全最優先の業務を実施するなど)

年賀郵便物及び小包の予想総物数

項目	引受物数	持出総物数
年賀郵便物 【12/15(木)~1/7(土)】	2,486千通 (前年 2,808千通)	/
ゆうパック 【11/24(木)~12/31(土)】	39千個 (前年 39千個)	109千個 (前年 111千個)

年賀郵便物及び小包の流れの予想

項目	引受ピーク		持出ピーク	
	月日	物数	月日	物数
年賀郵便物	12/28(水)	223千通	/	/
ゆうパック	11/30(水)	1,550個	12/1(木)	4,170個

説明(左上表参考)が行われました。

その後、業務運行等に関する資料に基づき、説明を受けるとともに意見交換を行いました。

今年度の年賀郵便物・ゆうパックの予想総物数及び流れの予想は表の通り。ゆうパックは一昨年から1割以上減少した前年度とほぼ同数で、今回も業務がふくそうするこ

この他、臨時収集便、収集便増強を例年通り計画。年賀郵便物の元旦打ち便は例年通り(大長下り4便)だが、局前ポスト

ト開箱について、今年は午前2時20分にするという説明がありました。

また送達日数繰り下げ後のオペレーション考慮として、一般信区分機処理は、年賀取扱期間でも平常期と同じく原則昼間帯で実施。

郵便部から集管部への年賀2パスについては、初回が12月26日。以後29日・30日・31日の4回のみ。また31日は年賀はがきに加え一般信(はがきのみ)を混合交付する。

支部からは、前年度より年賀郵便物は1割減少しているが、総

間」をオーバーしない為に(早くから)特別条項を使用する事の無いように、と申し入れました。



廃休に関しては「基本0」で行くとの支社指示に基づき1・3集管部は予定無し。2集管部で4日を計画。また12月31日及び1月1日も若干数だが休みを指定できることから、連続出勤は長期にならないと思っていると説明がありました。

尚、長中局に対して、10月31日に提出した年繁要求書については、1月1日の集管部出勤時間未確定の為などもありまだ回答がそろわないとの事です。支部としては早期の回答を求めており、回答があり次第報告します。

年繁業務に対して皆さんも疑問・不安に思う事柄があるとします。ユニオンに相談してください。一緒に職場環境・労働環境の改善を図りましょう。



中間競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。
期間雇用社員の希望を全員の正社員化を。
ゆげ、均等待遇、なつて差別。ユニオンは労基法裁判に勝利したぞ!